

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

(平成25年度事業)

事業の概要		事業開始年度	昭和46年～	根拠法令・例規等	民生委員法、児童福祉法、備前市民生委員推薦会規則	
総合計画	大項目 基本構想	04	土台となる政策「安全・安心」	問 合 先	担当課(室)	介護福祉課
	中項目 基本計画	06	誰もがいつでも安心して暮らせるまち		職・氏名	高齢者福祉係長 森本 明美
	小項目 施策	21	高齢者への福祉の充実		電 話	0869-64-1827
事務事業名		12	民生委員児童委員活動助成事業	このシート作成に要した時間		2.0 時間

事業の目的		Plan
対 象 (誰・何に対して)	民生委員児童委員	
目 的 (何のために)	民生委員法、児童委員法に規定されている任務、活動の遂行を支援することを目的としている。	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	民生委員児童委員活動の活発化、専門技術の習得により要援護者支援の充実、円滑化	

事業の実績			Do
	細 事 業 名	事 業 の 説 明	優先度
目的を達成するため実施した事業	民生委員児童委員活動助成事業	民生委員児童委員活動の支援、育成を行い、もって地域社会福祉の増進を図るため、民生委員児童委員協議会に対して補助金を交付するもの。 民生委員児童委員数 131名 協議会数 9	○

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	
決 算 額	直接事業費	千円	8,525	8,531	8,595	
	必要人員費	千円	0.94人	0.75人	0.88人	
	事業費計	千円	17,098	15,190	16,462	
財 源	国 県 支 出 金	千円	7,704	7,696	7,738	
	受 益 者 負 担					
	繰 入 金					
	市 債					
	一 般 財 源		9,394	7,494	8,724	
	受 益 者 負 担 比 率	%	-	-	-	
結果指標名		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	
結 果 指 標	結果指標量	説明	民生委員児童委員の活動日数	16,400	16,951	16,122
	対前年比	%	-	103.4%	95.1%	
	活動コスト	円	17,278,000	15,190,000	16,462,000	
	単位当たりコスト	円	1,054	896	1,021	

事業の成果					
成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
委員1人当り年間相談・支援件数	目標値(A)	55	55	55	55
	実績値(B)	42.8	44.3	47	到達目標値
	達成率(B/A)	77.82%	80.55%	85.45%	60
成果指標設定の考え方・式や説明					

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ、< ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください>	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	C

進行年度(H26年度)の改革改善内容							
状 況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
説 明	平成25年12月に新たに委嘱された委員について、引き続き民生委員児童委員の役割・活動について支援を行う。全委員を対象に、更なる相談支援技術の向上を図る。						

総合評価		総合評価	B
民生委員児童委員活動は地域における福祉推進の要であることから、より一層の充実が必要である。また、効率的な運営に努め、協議会の自主運営も検討していく必要がある。		A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い	

平成27年度の方向性・取組目標							
方 向 性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
取 組 目 標	委員個人のレベルアップを図りながら、市民のニーズに即した活動方法を検討実施していく。自主的な協議会運営も検討していく。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな